

赤川砂防だより



みんなで防ごう土砂災害

発行：新庄河川事務所
赤川砂防出張所

国土交通省 第86号：平成27年10月

「昭和50年 真室川災害」～あれから40年～



庄内地区

第1回安全パトロール



平成27年9月2日に「平成27年度 庄内地区第1回安全パトロール」を実施しました。

庄内地区安全パトロールは、赤川砂防出張所と立谷沢川砂防出張所管内における工事の安全施工と労働災害の未然防止を目的として、毎年2回、官民合同で実施しています。

今回は、発注者12名、受注者23名の合計35名が参加し、パトロール箇所以外の工事現場でも取り入れるべき良い点や、事故が起こらないよう改善すべき点がないか点検を行い、検討会において意見交換を行いました。

点検工事①：石金沢砂防堰堤工事

★良い点



現場内、事務所内の整理整頓が良好。狭い施工ヤードで、カラーコーン等を使用して施工箇所と通路が分離されていて良い。

★改善すべき点



電動工具(高速カッター)に取扱責任者が明記されていない。
→ 明記した。



市道に鉄板がはみ出している。
→ はみ出さないように敷き直しを行った。

点検工事②：鱒淵沢第一砂防堰堤工事

★良い点



休憩所の屋根養生が熱中症対策として良い。

★改善すべき点

【改善前】 → 【改善後】



施工箇所から避難する階段が必要ではないか。今の通路は川側を通るので危険である。
→ 避難階段を設置し、通路を安全な箇所に移動した。

検討会



現場パトロールの後は、検討会が行われました。

始めに新庄河川事務所の事業対策官による「工事事故発生状況とヒューマンエラー」と題した講話があり、過去にあった事故を検証しながら、今後も安全施工に組織として取り組んでほしいという内容でした。

その後、工事現場を見て気づいた良い点や、事故が起こらないように改善すべき点がないかなどの意見交換を行いました。

今回の点検結果を全ての工事現場で反映させ、今後も事故防止に努め、「安全第一」で工事を進めてまいります。



タキタロウまつり アンケート結果報告

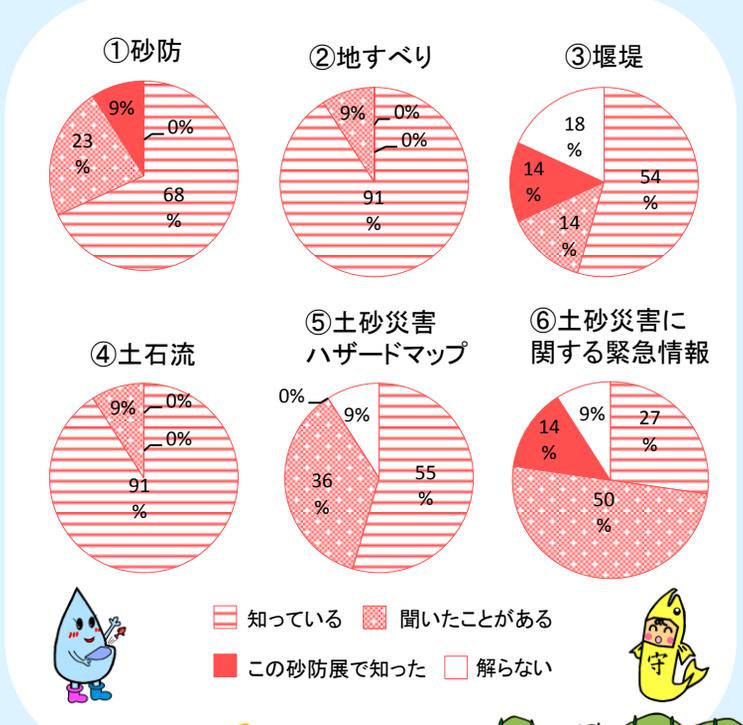
本年5月31日、鶴岡市大鳥のタキタロウ公園において「第30回タキタロウまつり」が開催されました。当出張所では「赤川砂防展」を出展し、砂防事業の広報活動や土石流模型実験などを行い、その際に実施したアンケートでは22名の方にご協力いただきました。

タキタロウまつりでの当出張所の活動は「赤川砂防出張所からのお知らせ」にて報告しておりますので、本紙ではとりまとめたアンケート結果についてご報告いたします。

アンケートの中でも土砂災害に関する用語について質問したところ、砂防や地すべり、土石流など、テレビや新聞などでよく聞くものについて知っている割合は高かったようです。

それに比べ、堰堤や土砂災害ハザードマップは5割、土砂災害に関する緊急情報は3割と認知度が低いことがわかりました。

近年は自然災害による甚大な被害が多くなっています。いざというときに備え、土砂災害に関する知識や情報も、このようなイベントを通じ、改めて覚えて頂ければと思います。



田麦俣地区地すべり緊急対策

本年9月8日、鶴岡市田麦俣地区において市道中台線の変状(地すべり)が確認されたことから、新庄河川事務所では災害対策支部(警戒体制・砂防)を設置しました。鶴岡市により市道中台線の通行止めの措置がとられ、当事務所では地すべり監視のため、地盤伸縮計・監視カメラ等の設置を行ったほか、緊急対策工を施工しました。9月14日には緊急対策が完了し、地すべり変動が沈静化したことから、現在は災害対策支部(注意体制・地すべり)に移行し、更なる対策を施工中です。



地すべり

「地すべり」とは、斜面の一部あるいは全部が重力によって斜面下方に移動する現象です。広い範囲にわたって地面が動くので、人家や道路がのみ込まれたり壊されたりして大きな被害をもたらすとともに、いったん動き出すと、これを完全に停止させることは非常に困難です。

※上記アンケートにて認知度の高かった「地すべり」が起こりました。今のところ、人身に関わる被害はありませんが、「もしも」を考え、日頃から災害への備えをしておきましょう。



国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所 赤川砂防出張所
 〒 997-0404 山形県鶴岡市下名川字落合 2 2 7
 TEL : 0235 (53) 2841 FAX : 0235 (53) 2807
 HPアドレス <http://www.thr.mlit.go.jp/shinjyou/>

